

【表紙】

【提出書類】 臨時報告書の訂正報告書

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 2026年3月2日

【会社名】 株式会社フライヤー

【英訳名】 Flier Inc.

【代表者の役職氏名】 代表取締役CEO 大賀 康史

【本店の所在の場所】 東京都千代田区一ツ橋一丁目1番1号

【電話番号】 03 6212 5115

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 望月 剛

【最寄りの連絡場所】 東京都千代田区一ツ橋一丁目1番1号

【電話番号】 03 6212 5115

【事務連絡者氏名】 取締役CFO 望月 剛

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【臨時報告書の訂正報告書の提出理由】

2026年2月27日付で金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第8号の2及び第12号の4の規定に基づき提出いたしました臨時報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため金融商品取引法第24条の5第5項の規定に基づき、臨時報告書の訂正報告書を提出するものであります。

## 2 【訂正事項】

### 2 報告内容

2. 財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の内容（企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の4に基づく報告内容）
  - (4) 財務上の特約の内容

## 3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_\_\_を付して表示しております。

2027年2月期以降の各事業年度の決算期における連結のDSCRを1.2倍以上に維持すること。なお、ここでいうDSCRとは、債務者の各事業年度に関して、以下の計算式により算出される値をいう。

$$DSCR = \frac{A + B + C + D - E}{F}$$

- A = 当該事業年度の連結の損益計算書における経常損益  
B = 当該事業年度の連結の損益計算書における減価償却実施額  
C = 当該事業年度の連結の損益計算書におけるのれん償却実施額  
D = 当該事業年度の連結の損益計算書における敷金償却実施額  
E = 当該事業年度の連結の損益計算書における配当金  
F = 当該事業年度の連結の損益計算書における法人税等合計額  
G = 当該事業年度における短期借入金、1年内返済予定の長期借入金（社債含む）、長期借入金（社債含む）の元本返済合計額（期限前弁済を除く。）

(訂正後)

2027年2月期以降の各事業年度の決算期における連結のDSCRを1.2倍以上に維持すること。なお、ここでいうDSCRとは、債務者の各事業年度に関して、以下の計算式により算出される値をいう。

$$DSCR = \frac{A + B + C + D + E - F}{G}$$

- A = 当該事業年度の連結の損益計算書における経常損益  
B = 当該事業年度の連結の損益計算書における減価償却実施額  
C = 当該事業年度の連結の損益計算書におけるのれん償却実施額  
D = 当該事業年度の連結の損益計算書における敷金償却実施額  
E = 当該事業年度の連結の損益計算書における配当金  
F = 当該事業年度の連結の損益計算書における法人税等合計額  
G = 当該事業年度における1年内返済予定の長期借入金（社債含む）、長期借入金（社債含む）の元本返済合計額（期限前弁済を除く。）